



R7. 3. 6

No 1 4

下仁田中 保健室

来週には、卒業式を迎える3年生。ご卒業おめでとうございます。先生は、みなさんの成長を3年間、間近でみることができて本当に嬉しいです。

3年生になってからは、いつも1、2年生のお手本になって、部活動でも委員会でも、いろいろな場面で活躍してくれました。「さすが、3年生！頼りになるな」という気持ちでいっぱいでした。ありがとう。

そして、その3年生の活躍を1、2年生がしっかり見ていてくれて、3年生の素晴らしい所、まねをしたいと思う所をたくさん書いてくれたことも、先生は嬉しかったです。



ひと足先に満開のさくら

1、2年生のメッセージ

3年生の素晴らしい所・まねをしたいと思う所

- イベントをする時、積極的に盛り上げてくれる
- 一人一人個性があって、自分のことも他の友だちのことも大切にしているところ
- ユーモアがある
- みんなの前でも恥ずかしがらずにみんなを笑わせるところ
- 色々な意見を言えること。コミュニケーション
- 学校行事に率先して取り組む姿すごい尊敬します！！
- 明るくてノリのいいところがすごかったです。まねしたいです！
- 低学年を大切にしているところ
- 先頭に立って全力で盛り上げてくれるところ
- 3年生のユーモアあふれる発表や行動にすごく憧れます

今年度最後の保健だよいでは、**1年間の保健教育を振り返ってみたいと思います。**

6/3

第1回学校保健学習会「コミュニケーションスキル」

講師：日本ピアサポート学会 常任理事 吉田益美先生

ピアサポート：仲間同士の支え合い

ピアサポートの第一歩は、「他者への関心」からです。友だちの様子がいつもと違うなと思った時、ちょっと勇気をだして、声をかけてみてください。その時に使ってほしいのが、みなさんが体験した『傾聴』です。

話を聞いてもらう時、『関心のない聞き方』や『えらそうな聞き方』をさ



れたら、嫌な気持ちになった人がほとんどだったと思います。今はそのピアサポート体験をした『傾聴』を活かして、友だちと上手に接していることと思います。

9/21

第2回学校保健学習会「対立の解決スキル」

講師：日本ピアサポート学会 常任理事 吉田益美先生

ピアサポート：仲間同士の支え合い

第2回学校保健学習会では、「対立の解決スキル」を学びました。

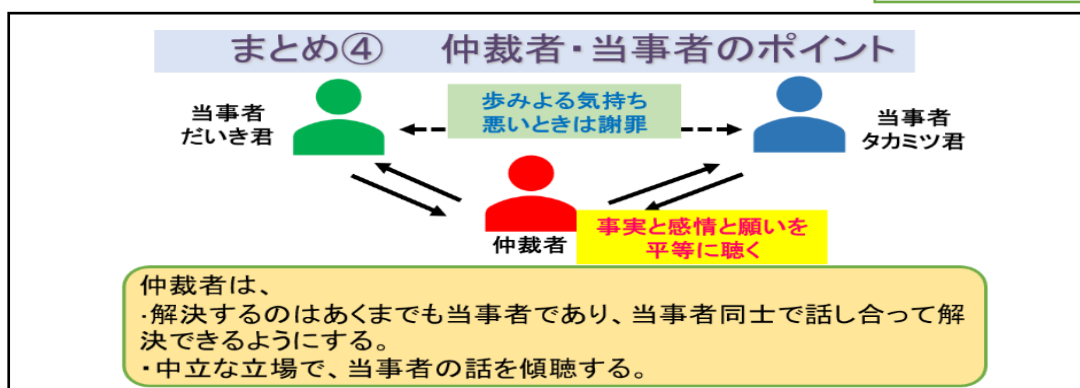
このスキルはすぐに身につくものではありませんが、練習を繰り返し、身につけてほしいです。仲裁者役としてのピアサポート。

何かトラブルが発生したら、当事者同士で話し合いをして、解決できるようになるといいです。しかし、現実には難しいことが多いので、できれば仲裁者役の人が、中立の立場で当事者の話を傾聴して、当事者同士がよい方向に折り合いがつけられるよう手助けをしてほしいです。

自分たちの力で対立を解決できるようになれるといいですね。



仲裁者としてのピアサポート



11/21

学校保健委員会

テーマ『いつやめてもいいよねルール』継続？それとも見直し？ みんなで考えて決めよう！

テーマについて事前に各学年で話し合いをしてもらい、学校保健委員会では、その結果を学級代表が発表しました。さらに、その意見をもとに、大澤保健委員長の司会で話し合いを進めました。

「2年生の『今やめてもいいよね』ルールがすごく良いと思った。今までのものは「いつやめてもいいよね」ルールで、やめやすくするために作った。「今やめてもいいよね」ルールは、ゲームやインターネットとか無限の娯楽を一回やめて、本や勉強、運動などの有限の娯楽を楽しむべきだと伝えている。」と発表してくれた3年高橋くんの意見は、みんなが納得するものでした。

意見交流をした後、採決を取り、以下のことが自分たちのルールとして決まりました。

決定した下中生のルール

- 「今 やめてもいいよね」ルールに変更する。
- 有限の娯楽を増やす。有限の娯楽が大事。



これからも自分たちで決めたルールを守って、健康的にICTを使っていきましょう。